

# 年頭の御挨拶

辰巳会会長 鈴木治雄



新年明けましておめでとうございます。

二十一世紀の幕開けはテロに始まり、なかなか治まる気配がありません。

これも宗教と民族との戦い、それぞれの我の強さが和解への道を塞いでいるからだと思えます。国と国が互いの損益で手が結べない時代となり、平和への仲介者が居なくなってしまうました。

これは繁栄した国と疲弊した国との差が大きくなり、状況の良い国が大きな態度をとり、世界の警察を自負して来たことへの反感が積み積って今

日の世相となったものと思われます。このままでは、世界の破綻を迎える非常事態になるのではないかと心配いたします。

我が国も上部階級に属していると世界は見ているので、ここで方針を違えたとんでもない方向へ行く可能性があります。日本としてはイニシヤティブを取って、国際連合を生かし、平和のための労をとるべきで、牛後とならぬよう頑張つて欲しいものです。

新年早々このような挨拶をしなければならぬ世相です。皆様も頑張つて良い日を迎えられるよう祈念し年頭の挨拶いたします。

## 全国大会報告

平成十三年五月十八日(金)／於：ホテルオークラ神戸「桃花林」

平成十三年度「辰巳会全国大会」は、五月十八日(金)正午、神戸港近くのホテルオークラ神戸「桃花林」で好天の下開催されました。

高層の三十四階の会場からは、震災後復興成った貿易立国日本の最新線基地である明るいすばらしい神戸港が展望され、嘗つて、神戸の鈴木より世界の総合商社鈴木へと雄飛発展した鈴木商店の檜舞台の一つでもあったところで、感慨一入でありました。

定刻前からお元気そうな会員の皆様方、三々、五々来会され、こやかに久し振りの再会のご挨拶を交わされていました。

定刻ご出席の三十五名全員着席されたところで、事務局金野さんの司会で会は始まりました。

初めにNHKの藤波ディレクターより、「七月四日の『その時、歴史が動いた』の番組に昭和金融恐慌時における巨大商社鈴木商店の事を放映する準備をすすめております。今日は鈴木商店関連OB会の大いに参加させて頂き、きわめてなごやかな会合の模様等を取材させて頂きます」との挨拶がありました。

次いで横田幹事長より「鈴木整理時の店員が、鈴木商店をなつかしく思つて会を興し四十年経っており、その後世を去られ、現在はほとんどがお連れの方、ご子息の準会員の方々になっておりますが、世の移り変わりに従つて終身雇傭が崩壊し、企業に帰属意識が薄くなつて最近の世相の中で、鈴木に縁のある者にとっては、鈴木整理後七十有余年経つても鈴木系の人間だとの意識がいつまでも残っている事は、今の世の中では珍しく、有難い事でいつまでも親しくお付き合い下さい」との開会の辞があり、引き続き、鈴木会長より「正会員は少なくなつて来ておりますが、お連れの方、ご子息、ご親族の方々が鈴木商店を思いながらご出席下さい。益々継続し度い意欲が湧いて来ています。私は正月に広野でのプレイ中ちよつとした事で入院しましたが、皆様方ご健康に留意され長生きして会を忘れないで、協力下さい」と心強いご挨拶がありました。

次いで松下幹事より会務報告があり「本年五月九日に幹事一同祥龍寺に於いて過去一年間の物故者の法要合祀を行った」旨を伝え、ここ

で一同物故者のご冥福を祈って黙祷を捧げました。

次に、東京から駆けつけられた、帝人、日商、帝人製機と勤められ、鈴木家と縁戚関係にあられる前川滋郎様のユーモアたっぷりなご挨拶と力強い発声で乾杯、会場は明るい和やかな宴へと移りました。宴の中、来賓の王鞍延子様が、慶応大学経済学部卒業論文として、種々な角度から学問的に纏められた論文を「神戸の鈴木商店」と題されて、神戸と共に歩んだ鈴木商店の栄枯盛衰について講演されました。改めて鈴木商店の偉大であった歴史を偲び、感慨深いものがあり大きな拍手が湧きました。どのテーブルも楽しく盛り上がり一息ついたところで、安東幹事より興味ふかいお話がありました。

それは、「往年日本にNHKの記号（商標）をもったグループが三つあったようです。その一つは日本放送電、二つは日本放送協会、三つ目は日本発條です。その一つの日本放送協会の記号は、NHKと右に倒れています。そこで協会さんはNHKの立体を強く望まれておられたか、日本発條に日発商標の「NHK」を譲ってほしい旨の申し出があったようです。その節、日発さんは当社は民間企業でいつ倒れる（倒産）かわからないので、今から倒れるわけにはいかないとお断りしたようです。協会さんは永久に倒れることはないでしょうから今から倒れて（傾斜）いても支障はないでしょうと、云々問答の末、NHK

さんは傾斜記号を採用されたようです。このような因縁あってか親しみを感じます。今回七月四日（水）に放映予定の「その時、歴史が動いた」は、昭和金融恐慌発生時の大臣の発言で招く破局した巨大商社

鈴木商店の倒産に関連して、金子直吉翁の対応振り等が四十五分間に亘り放映される予定ですからお忘れなくご覧下さるようお願いいたします。辰巳会としてもすばらしいものでありますことを祈念します。との珍しいスピーチに皆様微笑んで居られました。

つづいて遠路函館よりご出席下さった元会員加地彦太郎様長女の加地律子様より、ご挨拶とスピーチがあり、次いで金子峻様よりもスピーチを頂きました。何れも人と人との関係を大切にする家族主義的な鈴木精神のお話で、心暖まる思いがいたしました。

ここで、金子孝蔵様が今の季節に相応しい「二声」の粋な小唄を朗々たるお声で披露され、一層華やいだ会場となりました。やがて時限となり安東幹事の閉会の言葉でなごやかな宴も終り、場所を三階の広間に移し全員記念撮影の後、大会は和やかなうちに無事終了しました。

(S・I記)

### 平成十三年度 全国大会式次第

平成十三年五月十八日(金)  
於・ホテルオークラ神戸「桃花源」

司会進行役 事務局 金野和夫

- 一、開会の辞 横田 幹事長
  - 一、会長挨拶 鈴木 会長
  - 一、会務報告 松下 幹事
- 宴
- 一、乾杯 前川 滋郎 氏
  - 一、スピーチ 王鞍 延子 氏
- テーブルスピーチ
- 一、閉会の辞 安東 幹事

以上

### 平成十三年度 全国大会出席者名簿

(敬称略・五十音順)

平成十三年五月十八日(金)  
於・ホテルオークラ神戸「桃花源」

- |       |        |        |
|-------|--------|--------|
| 足立せつ  | 金子ソメエ  | 前川 滋郎  |
| 安東 浄  | 金子 峻   | 松下 重男  |
| 安東 恒子 | 東條 佳子  | 宮永 悠紀雄 |
| 今村 三郎 | 楠瀬 正明  | 森 泰助   |
| 王村 延子 | 鈴木 治雄  | 森 好子   |
| 大谷 一二 | 鈴木 慶子  | 柳田 辰巳  |
| 大谷 淳子 | 扇谷 睦   | 柳田 光子  |
| 鶴崎 淑子 | 須藤 欽吾  | 横田 周作  |
| 大塚 融  | 月岡 定康  | 鷺尾 千鶴子 |
| 小野 晶子 | 坂東 みどり | 金野 和夫  |
| 加地 律子 | 武藤 秋   | 川崎 雅子  |
| 金子 孝蔵 | 福井 崇子  |        |
- (計二十五名)

(四月十五日退院) (一日約5%筋肉が萎縮する) で、足腰が弱り今  
 以ってリハビリを続けています。

お陰で小生予約のキャンセルが続き、予ねて予約の楽しみにしてい  
 た本年七月のローマ行き(東京市立暁星中学同期生である白柳枢機卿  
 案内の許、バチカン宮殿見学する)も、奈良忠山会の西安市旅遊団の  
 訪日歓迎会も、関西エトワール会(暁星中学関西同窓会)も、約二ヶ  
 月間の辰巳会(旧鈴木商店親睦会)の幹事会も、中央毛織(前に勤め  
 た)染色OB会も、日文研学術講演会も、シアア囲碁の会も、NHK  
 三国志講習会も総てキャンセルして諦めざるを得ませんでした。やっ  
 と五月十八日辰巳会全国大会に妻の介添えで出られました。

入院中は親戚・友人達が次々と見舞に来てくださり、病院のテラス  
 よりの神戸の海山の景色を案内出来たのが、不幸中の収穫でした。  
 退院後は医者に止められて囲碁を止め、前述の血圧が上がらない程  
 度のリハビリに精を出し、季節の草花の花を愛でようと、少しでも長  
 い距離が歩けるよう、腰の痛みが緩和するよう努力しています。

ここ毎日の生活は、病院の休みの日は習ったリハビリ体操と雑用に  
 時間を追われ、開院している日は診察又は内科のリハビリにほぼ半日  
 費やしています。

此処でリハビリの様子を紹介しますと、若い美人の理学療法士の増  
 田佳代子先生指導の下、腰を温パットで暖めた後、先ず第一に前より  
 患っていた「後縦靱帯骨化症」(小生の場合第六頰骨の靱帯に骨が生  
 じる病氣。これが神経を圧迫し様々の悪影響を及ぼし、左肩に鈍痛を  
 感ずる)対策の為首の牽引をします。次いで内科的にクーリングの仕  
 方、深呼吸の実地、腹式呼吸の息を吐き乍らの血圧を上げない運動法  
 の指導が有り、其の後整形外科的腰痛対策の方法の体操を実施、横に

# 辰巳会 だより

## 本部新年例会報告

平成十三年度 辰巳会  
 新年例会出席者名簿  
 平成十三年一月十八日(休)  
 於・神戸「第一樓」  
 (敬称略)

安東 浄	楠瀬 正明
安東 恒子	須藤 欽吾
大谷 一子	坂東 みどり
大谷 淳子	武藤 秋
大塚 融	松下 重男
岡田 賢一	松田 尚士
小野 晶子	柳田 辰巳
金子 孝蔵	横田 周作
金子 ソメエ	横田 よし子
金子 貞子	河野 芳子
金子 貞子	河野 芳子
東條 佳子	川崎 雅子
東條 賢	計二十五名

## 本部 秋季例会

十月二十五日(木) 辰巳会秋季  
 例会が催された。

楠瀬、柳田両幹事のご誘導よろ  
 しく、集合地「東急イン」前に、  
 定刻、前幹事長横田氏御夫妻をは  
 じめ、懐かしいお顔が揃いました。  
 道路の渋滞も無く、松本氏の名  
 運転のおかげで、目的地「琵琶湖  
 ホテル」には予定より早く到着し  
 ました。現地にてお待ち下さった  
 会員様と合流、全員二十八名、五  
 階の宴席「長楽」に入りました。



なって足首上下体操・足上げ三体操・腰上げ体操・腰捻り体操・腹筋  
 二体操・横向き足上げ体操・立ってのアキレス腱を伸ばす運動等を通  
 じ、正しい歩き方を指導してくれています。この間約一時間を要し、  
 寒い日でも汗ばんで来る程でした。  
 長々書いて来ましたが、現在の心境は一日も早く足の萎えを直し、  
 昔の元気さを取り戻す様、努力しています。  
 其の後の経過を付け加えますと、七月十四日のMRI検査では、脳  
 出血部分の大半が吸収され、症状としても左掌の痺れは全く取れ、変  
 りに右手及び右足の小指の感覚が無くなって来ている状態です。それ  
 に身体のバランスを計るのに若干の異常を感じる程度です。短距離の  
 歩くスピードは元に戻って来たものの、長距離歩行特に上り坂は腰が  
 痛くなり、まだ苦手としてます。  
 以上近況御報告致します。

### 訂正

六十四号に左記の誤りがありました。  
 お詫びして訂正いたします。  
 P 18 名門大鈴木が残した...の  
 (太陽鉱工)の冒頭部分につき、太平洋経済新報社の記事  
 『日商株式会社の事業部門を継承して同系独立会社になっ  
 た』をそのまま転載しましたが、『鈴木商店直系の太陽  
 曹達株式会社を創業とする』が事実です。  
 P 31 写真(下)  
 誤 鈴木商店小樽支店社員一同  
 正 鈴木商店函館支店社員一同

柳田幹事の司会で、すっかりお  
 元氣になられた会長のご挨拶があ  
 りました。次いで、栃木県より遠  
 路ご参加の横田氏のご発声で一同  
 乾杯。今日のお料理は「秋姿十月  
 のお献立」、数々のご馳走が美し  
 く並びます。  
 和氣藹々の内に宴は進み、岡田  
 賢一氏の民謡、金子孝蔵氏の小唄  
 と辰巳会の名物になったお二人の  
 渋い喉のご披露がありました。ま  
 た、須藤欽吾氏が専門の金属に関  
 するお話をされ、大いに宴は盛り  
 上りました。この間、金野カメラ  
 マンは大活躍でした。

会場のお部屋からは、晴れ渡つ  
 た湖面にヨットの白い姿が見ら  
 れ、最高の景色でした。楽しい時  
 間は過ぎ、心づくしのお土産「琵琶  
 湖の四季」を頂き、帰途につ  
 きました。  
 帰途もスムーズで、三宮には四  
 時前に着きました。安東幹事の言  
 われた辰巳会日和の暖かい一日を  
 過ごすことができました。種々お  
 世話下さった幹事の方々、名運

## 平成十三年度 秋季大会

出席者名簿  
 平成十三年十月二十五日(休)  
 琵琶湖ホテル「長楽」  
 (敬称略・五十音順)

足立 せつ	楠瀬 正明
安東 浄	鈴木 治雄
安東 恒子	須藤 欽吾
今村 三郎	坂東 みどり
今村 孝子	武藤 秋
岡田 賢一	松下 重男
小野 晶子	森 好子
小原 多喜子	柳田 辰巳
小原 秀吉	横田 周作
金子 孝蔵	横田 よし子
金子 ソメエ	金野 和夫
金子 貞子	川崎 雅子
金子 貞子	川崎 雅子
東條 佳子	松本 節男
東條 賢	計二十八名

手松本氏にお礼申し上げます。  
 (YM記)

## 東京支部 新年例会

今日は東京支部の二十一世紀最  
 初の意義ある新年例会である。場  
 所は例によって永年お世話になつ



ている築地スエヒロでおこなわれた。天候は冬にしては温く青空で気分上々で恵まれた、有難い一日であった。参加者は十七名の方方で、お元気一杯の笑顔で会場へ入られた。中でも速水優様にはお多忙きまりないところを微笑で、力づよくお見えになられ全員大拍手でお迎えしました。日商岩井社長安武史郎様は今回は是非とも出席し皆様と親しく懇談したいと楽しみにしておられたようですが、今朝刊掲載のように緊急所要のためやむなく欠席となられ心待ちにしていた皆様は大変残念でありました。

予定時間となりましたので荒木義弘幹事の司会進行で始まり、先づ荒木正雄支部長の年始のご挨拶をいただく、ついで昨平成十二年度に亡くなられた方、四名のお知らせがあり、静かに黙祷をささげご冥福をお祈りしました。本年の卒寿、米寿の会員はおられない事の報告があつて、配膳も整っておりましたが、懇親会に入る前



に日商岩井秘書課長平井龍太郎様より一言、安武社長は今日の席を待望しておりましたがやむなく欠席となり、申訳なしと、ねんごろなお詫びの言葉があり安武社長よりのメッセージ、次の次第であります。安武でございます。本日は辰巳会新年例会に初めて出席できると楽しみに致しておりましたが、急な所用のため、まことに失礼ですが欠席させていただきます。

社長就任以来、間もなく二年になりますが、日ごろ辰巳会の皆様と再会を約し、お土産袋を手にして街の中に消えて行きました。今日は本場にさわやかな新年例会でした。有難うございました。(記・K)

### 東京支部春の例会

先づ前支部長の速水優様の乾杯音頭で、われんばかりの拍手がつづく、メニュー一番スエヒロ自慢の和牛ステーキに舌づつみ、風味はこのうえなしか、般若湯が手伝つて賑やかな快楽光景となる。ここで速水様に一言お願いする。国会むけのお顔とは全く違った微笑顔で、有意義なお話を賜りました。日本の世界の困難な金融界の舵取りの超大役とご心労をお察し申し上げます。今後とも一層のご壮健で立派に任を果たされますこと祈念いたします。

今回お顔をお見せにならなかつた、穏やかな、池谷、請川両長老には体調がすぐれずとのこと、大変残念、寂びしい限りでありました。一日も早く回復されますことを念願します。

閉会の時間も参り司会者より本日の記念品はティジン、ニツパツ様より頂いたもの、又日商岩井様よりは過分のご芳志を頂いたことのご披露とお礼の詞があつて、楽しい懇親会も終りお開きとなりま

には暖かい激励をいただき、ありがとございました。また色々心配もおかけしてきたことを申し訳なく存じます。最近のように変化の激しい時代には、環境の変化に機敏に対応して、すばやく組織や体制を変えて行かなければ会社の存在価値を失ってしまいます。これまで色々やっておりますが、一番のポイントはいくつかある会社の有力な商権を核に組織を作り直し、社会カンパニーとして独立性を持たせ、その責任者には十分な権限を与え、仕事のスピードアップを図ったことでもあります。この間、大変残念な事ではありましたが、必要に迫られ、会社の資産の一部を売却したり、社員の数を減らすなど辛い決定も行ってまいりました。皆様の中には当社の株を持っていただいている方も多いと思えます。証券投資の専門家に対し定期的に当社の状況を説明する努力を私自身が率先して行ってまいりました。先日もこのために海外に行つ

て直したものである。いかにも時代を感じさせられる落ち着いたホテルで、バーの一角の壁に昔の赤レンガをむき出しにするなど至る所に古さが偲ばれる工夫が施されている。

定刻一時間前頃から会員の方々がお集まりになり始め、正午には全員集合。今日のご多忙な前支部長の速水さんと一緒に速水夫人も初めてご参加いただいたのはうれしかぎり。まず全員で記念写真を撮り、支部長の荒木さんから開会のご挨拶、続いて速水さんから乾杯のご発声をいただき、会食



平成十三年度 辰巳会  
東京支部 新年例会参加者  
平成十三年一月二十五日(木)  
於・築地スエヒロ  
(五十音順・敬称略)

荒木正雄	田代ヨシ子
安東 浄	建部清也
移川 中	長橋忠男
移川京子	西川明子
(池谷政雄)	森美子
池田崇吉	(安武史郎)
今村三郎	平井龍太郎
速水 優	荒木義弘
木村隆昭	参加者十五名

てまいりました。市場の見る目は依然として厳しいと申す他ありませんが、一部には好意的な見方も出てまいっております。どうか今しばらくご辛抱お願い致します。早晚必ずやご期待に沿えるものと思っております。

開始となる。ホテルが用意してくれたメニューを見るとオードブルからお魚、お肉、デザートまで季節感のある献立になっている。

荒木さんがご挨拶のなかで、鈴木商店が全盛期にこのホテルの一室を借り切つて仕事場代わりに使つていたことに触れたのを受けて、速水さんがわざわざご持参された数冊の本のどこどこを拾い読みされた後、城山三郎著『鼠』の中から金子直吉翁が倒産のやむなきに至つたときのところを次のように朗読された。

直吉は、須磨の家から追い出されただけでなく、永い間住み馴れた東京ステーションホテルからも出る。十余年の春秋を過ごしたる二十号室を立ち去るにのぞみて 落人の身をそばめ行く時雨哉 貧乏に追いつかれけり年の暮 思い出のしみついた部屋である。 ひきも切らぬ来客と、往訪。直吉の自分の時間というのは地下の理髪室に下りたときだけであった。

おしゃれとは縁遠い直吉であったが、一日に二度も理髪室へ行くほどであった。

仕事一途に突っ走った直吉翁の得意の時と失意の時に思いを馳せる。あの時から七〇有余年、いまだに辰巳会でゆかりの方々にお会い出来る幸せを思う。

続いて、幹事の安東さんより辰巳会本部がNHKから依頼を受け、取材に協力していることについてご披露。NHKの気番組「その時、歴史が動いた」の七月四日放送予定で鈴木商店が取り上げられ

平成十三年度 辰巳会  
東京支部 春の例会参加者

平成十三年六月七日(休)  
於・東京ステーションホテル  
(五十音順・敬称略)

荒木 正雄	速水 優	安東 浄	ご夫人
移川 中	長橋 忠男	ご夫人	西川 明子
池田 宗吉	木村 隆昭	今村 三郎	荒木 義弘

参加者十一名

るそうで、本部幹事松下重男さんが安東さん同席で約一時間半インタビューを受けられたこと、インタビューの内容は金子直吉翁の人となりについてや事業の経営姿勢に関することなどいろいろで、その中どれだけが実際に使われるか、おそらく数分のことになるだろうが全く予想もつかないと。また、去る五月十八日神戸で行われた全国大会にNHKの撮影グループが入りビデオとりしたことなど、いつもの通り安東さん一流の語り口で興味深いお話。日商岩井からも幹事の西川さんの蔵父文蔵氏の書簡集を資料として提供されたことが伝えられた。

宴会たけなわになり、参加者それぞれ和気藹々とご歓談。そんな中、速水さんを中心にしてNHKが鈴木商店を取り上げたように、今の世相に第一次大戦後の不況時と類似するところがあること。このところ金利が下がったままだが、物価も下がっているのではしばらく辛抱の時代であること、これまで

と違つて企業レベルでは銀行の融資に依存する間接金融の時代から資本市場で資金調達する直接金融の時代が変わってきていること。また来春ベイ・オフが始まるので、個人レベルでも各自が引きずる銀行の良し悪しを判断する力をつけることが必要、また各自が銀行預金だけでなく他のより有利な資産運用も勉強する時代になったことなどが話し合われるうちに予定の時間は瞬く間に過ぎてしまう。

司会者の閉会の言葉のあと、皆で鈴木商店が使っていた部屋を見せてもらう。それは二階の角にあり、当時は大きなスイートの部屋であったそうだが、今は三つのシングル部屋に改造されている。その一室に入ると、部屋のサイズは思ったより手狭な感じだが、品の良い調度が備えられており、窓からは新緑の皇居のお堀端が一望に見渡せる。金子直吉翁をはじめ鈴木の人々もきっとここからの景色を楽しんだに違いない。

秋の例会での再会を約しホテル

を出て空を見上げると、雲の動きが急に怪しくなっていた。

(Y・A記)

東京支部 秋の例会

お台場「ホテル日航東京」で会食と

今春竣工の日商岩井本社ビル見学

前日が雨だったので心配しましたが、当日は朝から見事な日本晴れ、いつも辰巳会の例会は好天に恵まれるがこの日もまさに辰巳会日和。新橋駅からモノレール「ゆりかもめ」でレインボーブリッジを渡り約十五分、日商岩井ビル最寄駅「お台場海浜公園」駅の次の「お台場」駅から陸橋を進み二分も行くとホテル日航東京の二階入口に着く。案内されて三階の海側に面した明るく豪華な「潮風」の間に入る。南西向きの全面一枚ガラスの窓からはレインボーブリッジのゆるやかなアーチ全貌が目線の高さで一望出来、その向うに東京タワーが見える。足許の海浜公園を隔てて展がる海面は秋の陽光に

キラキラ光り、大小の貨物船、客船、観光屋台舟がゆっくり行き交う。江戸幕府が築造した石垣囲いの砲台跡「お台場」や、いくつかの小さな人工島の松の緑が美しい。いま国の内外で起きている大きな事件や問題をよそに静かでのどかな景観だ。この日はこの素晴らしい眺望を楽しみながらの日本料理コースの会食。

因みにこのホテルは東京デイズニールランドに隣接してこの九月に開園した千葉県浦安市のデイズニールを訪れる客に人気だそうで同園にはシャトルバスで送迎している由、四百の客室稼働率は八十%とか。

さて、ご出席を予定していただいていた日商岩井安武社長が已むを得ぬ急用のためお見えいただけませんでしたが正午前には皆さんお揃いになり総勢十一名、数名の常連の方が見えられず、いつもより稍少人数でしたが、川畑裕子さんが初参加されました。鈴木商店に居られ、のち鈴木系の大陸木材



(株)の役員をされた祖父西岡勢七さんのお孫さんで、先日鈴木商店のことを放映されたNHKの「その時歴史は動いた」を見て安東さんに連絡をとり今日の参加となったそうです。

荒木(義)幹事の司会進行で始まり、川畑さんの紹介があり、荒木正雄支部長のご挨拶をいただいたのち木村隆昭さんのご挨拶と発声で乾杯をして会食となりました。先付からお祝、お造り、煮物、替り鉢とホテル心づくしの料理が次々運ばれ、美味しくいただきましたながら和やかな雰囲気でお話が始まりました。川畑さんの自己紹介があり、

箸を動かしながらの昔話やもろもろの話題で賑やかな集いとなりました。酒を酌み交わし料理を堪能しながらの談笑も尽きませんでした。午後二時近くなり部屋に隣接するテラス庭園に出てレインボーブリッジをバックに記念撮影をして一応ホテルでの会食は終わりましたが、このあと一同はホテルのバスで日商岩井本社ビルまで送っていただき完成後間もない台場地区の新しいビジネスシンボル、先端諸機能・設備を備えた二十四階建ての重厚な新ビルを見学させていただきました。

先ず二十三階プレゼンテーションルームで台場地区および日商岩井ビル紹介のビデオを拝見の後株主総会等の会場となる大会議室、次いで二十一階の社員執務中の営業部門オフィス、十三階厚生施設フロアーを案内していただいでから二十二階社長室・役員会議室フロアに上りゲートルームで茶菓をいただきましたながら休憩、ご多忙のな

平成十三年度 辰巳会

東京支部 秋の例会参加者

平成十三年十月二十三日(休)  
お台場「ホテル日航東京」で  
会食と日商岩井本社ビル見学  
(五十音順・敬称略)

荒木 正雄	木村 隆昭	安東 浄	長橋 忠男
池田 宗吉	西川 明子	今村 三郎	森 美子
同夫人	荒木 義弘	川畑 裕子	参加者十一名

か安武社長がお見えになり暫し和やかな懇談の一刻を過ごしました。新しいビルのほんの一部の駆け足見学でしたが綺麗で静かで落ち着いた感じ、ここが世界を相手に大きな仕事をしているH・Qなのかと感じ入りました。新ビルを終始案内いただいた総務部の西堀さん心からお礼を申し上げる次第です。予定の午後四時となり素晴らしい天候に恵まれた秋の例会も終了、赤坂塩野の銘菓をお土産にいただき、元気で再会を約して解散しました。

(N)